

## 製品安全データシート (MSDS)

作成 2010年05月06日  
改定 年 月 日

### 1. 化学物質等及び会社情報

製品名： HFTダクトガスケット (HFT2520PB06)  
会社名： サンゴバン株式会社  
住所： 長野県諏訪郡原村 10801-5  
担当部門： 機能樹脂事業部 諏訪工場 品質保証  
電話番号： 0266-79-6430  
FAX 番号： 0266-70-1002  
緊急連絡先： 諏訪工場 品質保証  
電話番号： 0266-79-6430  
管理番号： MS10E01C

### 2. 危険有害性の要約

重要危険有害性： 通常の使用では、危険性がない。  
危険有害性： 長時間 160℃以上で加熱すると熱分解し、一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素ガス (HCl) が発生する。  
GHS 分類： 物理化学的危険性： 区分外  
急性毒性 (経口)： 区分5  
急性毒性 (経皮)： 分類できない  
急性毒性 (吸入：蒸気)： 分類対象外  
急性毒性 (吸入：粉塵、ミスト)： 分類できない  
皮膚腐食性/刺激性： 区分2  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分2B  
呼吸器感作性： 分類できない  
皮膚感作性： 分類できない  
生殖細胞変異原性： 区分2  
発がん性： 区分1B  
生殖毒性： 区分1B  
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)： 区分1 (心臓)  
区分2 (呼吸器)  
特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)： 区分1 (呼吸器)  
吸引性呼吸器有害性： 分類できない  
水生環境急性有害性： 区分3  
水生環境慢性有害性： 区分4

#### GHS ラベル要素：

絵表示またはシンボル

健康有害性、感嘆符

注意喚起語 危険  
危険有害性 飲み込むと有害のおそれ  
皮膚刺激  
眼への刺激  
遺伝性疾患のおそれの疑い  
発がんのおそれ  
生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
臓器の障害  
長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害

注意書き 予防策

粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入をさけること。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
保護手袋を着用すること。  
取り扱い後はよく手を洗うこと。  
使用前に MSDS を入手すること。  
すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。  
指定された個人用保護具を使用すること。  
環境への放出は避けること。

対 応

気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。  
皮膚についた場合：多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。  
眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合ははずすこと。その後も線上进行すること。  
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。  
取り扱い後はよく手を洗うこと。

### 3. 組成、成分情報

単一製品、混合物の区分：混合物（成形品）

化学名：ポリ塩化ビニル樹脂

成分および含有量：

	化学式	CAS No.	含有量
ポリ塩化ビニル	$-(CH_2-CHCl)_n-$	9002-86-2	35-60%
フタル酸ノルマル-ブチルベンジル (BBP)	$C_{19}H_{20}O_4$	85-68-7	25%未満
三酸化アンチモン	$Sb_2O_3$	1309-64-4	3%未満
フタル酸エステル系可塑剤		営業秘密であり非公開	
アクリル系粘着剤		営業秘密であり非公開	
その他の成分は営業秘密であり非公開			

本製品は、劇毒物取締法の対象ではない。

フタル酸ノルマル-ブチルベンジル (BBP) :

化学物質管理促進法 (PRTR 法) 第一種指定化学物質 (旧番号 273 フタル酸ノルマル-ブチルベンジル、新番号 356 : 平成 21 年 10 月 1 日以降)

三酸化アンチモン :

化学物質管理促進法 (PRTR 法) 第一種指定化学物質 (旧番号 25 アンチモンおよびその化合物、新番号 31 : 平成 21 年 10 月 1 日以降)

労働安全衛生法 第 57 条の 2 通知対象物 (38 アンチモンおよびその化合物)

#### 4. 応急処置

吸入した場合 : 当該製品の加熱又は燃焼によって生じる蒸気、ガス等を吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移す。その後医師の診断(手当)を受ける。

皮膚に付着した場合 : 取り扱い後は、石鹸等で皮膚を洗う。  
粘着部が付着した時は、ゆっくりと剥がす。異常がある場合は医師の診断(手当)を受ける。

目に入った場合 : 直ちに多量の水で十分に洗い、眼科医の診察(手当)を受ける。

飲み込んだ場合 : 飲み込んだりしても害はないが、異常があれば医師の診断(手当)を受ける。

#### 5. 火災時の措置

消火剤 : 水、ドライケミカル、泡

火災時の特定危険有害性 :

火災により、一酸化炭素、二酸化炭素、および塩化水素ガスが発生することがある。

消火を行なう者の保護 :

火災の場合は、自給式の呼吸器及び耐熱性保護衣を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 :

通常の取り扱いでは漏出することはない。

保護具および緊急時措置 :

除去切断等によって塵埃が発生した時は、速やかに掃除機などで回収を図り、廃棄物用容器に入れる。

#### 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い :

技術的対策 火気を近づけない。

局所排気・全体換気

製品を 160℃以上で使用または加熱しないこと。もし、その恐れがある時は換

適切な保管条件： 気を良くするとともに、局所排気装置を設置する。  
直射日光や雨水を避けて、冷暗所に貯蔵する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 通常取り扱いでは、必要としない。  
許容濃度： 設定なし。  
保護具： 通常取り扱いでは必要としない。  
必要に応じて、保護眼鏡、保護手袋、保護衣、保護靴等の保護具を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

形状： スポンジ状の発泡体、片面に粘着面

色： 黒色

臭い： わずかに臭いあり

### 物理的および化学的性質

融点： 90℃（軟化点）  
沸点： データなし  
引火点： データなし  
発火点： データなし  
燃焼性： 難燃性  
爆発範囲 上限： なし  
下限： なし  
蒸気圧： 該当せず  
蒸気密度： 該当せず  
密度： 0.1-0.3g/cm<sup>3</sup>  
水に対する溶解性： 不溶  
分解温度： 160℃

## 10. 安定性及び反応性

安定性： 常温・常圧で安定  
反応性： テトラヒドロフラン（THF）とシクロヘキサンに溶解する。  
危険有害な分解生成物： 160℃以上で極めてゆっくり分解をはじめ、塩化水素ガスを発生する。  
燃焼等により一酸化炭素等の有害ガスを発生する恐れがある。

## 11. 有害性情報

急性毒性： データなし  
発がん性： 2B： 人に対して発がん性があるかもしれない（IARCによる、三酸化アンチモン）

## 12. 環境影響情報

残留性／分解性： データなし  
生体蓄積性： データなし  
生態毒性：  
魚毒性 データなし  
その他 極めて不活性であり、影響はない。

## 13. 廃棄上の注意

焼却処理か、安定型処分場で埋め立て処分する。

焼却処理を行う場合、概ね 700℃以下の温度で燃焼した場合に塩化水素ガスが発生するため、燃焼排ガスの処理対策を講じる。

もしくは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、都道府県知事により許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

国際規制： 該当なし

取り扱い及び保管上の注意の項で記載された内容に従うこと。

転倒、落下、損傷、水濡れのないように積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法 第 57 条の 2 通知対象物 (38 アンチモンおよびその化合物)

化学物質管理促進法 (PRTR 法) 第一種指定化学物質

成分	法文物質名	旧番号	新番号
フタル酸ノルマル-ブチルベンジル (BBP)	フタル酸ノルマル-ブチルベンジル	273	356
三酸化アンチモン	アンチモンおよびその化合物	25	31

注) 平成 21 年度分の PRTR の届出は、現行の第一種指定化学物質 (旧番号) に基づいて行う。

平成 22 年 4 月からの PRTR の届出は、政令改正後の第一種指定化学物質 (新番号) に基づいて行う。

特定有害廃棄物輸出入規制法 (バーゼル法)

廃棄物の有害成分・法第 2 条第 1 項第 1 号イに規定するもの (アンチモン / アンチモン化合物、フタル酸ブチルベンジル)

## 16. その他の情報

### 【引用文献】

SAINT-GOBAIN PERFORMANCE PLASTICS CORPORATION    MSDS  
塩ビの処理と再活用    塩化ビニール工業会  
地球環境と塩ビ    塩化ビニール工業会  
日本塩ビ食品協議会資料 MSDS  
化学品かんたん法規制チェック（2010年版）  
独立行政法人 製品評価技術基盤機構    化学物質総合情報提供システム（CHRIP）

### 【記載内容の取り扱い】

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。  
また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。